UYEMURA

2022年3月期

決算説明資料

上村工業株式会社

東京証券取引所スタンダード市場　証券コード：4966

2022年5月13日

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

2022年3月期 決算概要

【連結会計期間】
日本国内(2社)：4月～3月／海外(10社)： 1月～12月

● 表面処理用資材事業

- パッケージ用めっき薬品、高速通信関連電子機器めっき薬品および半導体関連めっき薬品の需要拡大により、売上高、セグメント利益ともに前連結会計年度を上回りました。

● 表面処理用機械事業

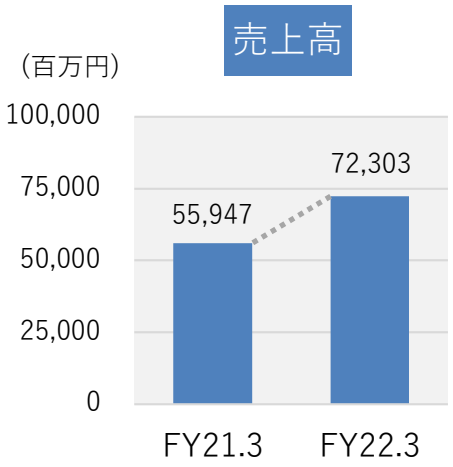
- IGBT関連半導体表面処理装置およびパッケージ関連表面処理装置の増加で需要は継続的に増加傾向にあります。今後共、この分野向け表面処理装置は増加傾向です。前期と比べますと売上高およびセグメント利益とも前連結会計年度を下回りました。コロナの関係で色々な電子部品および材料入手が厳しい事も大きく影響しています。この傾向は来期も継続すると考えています。

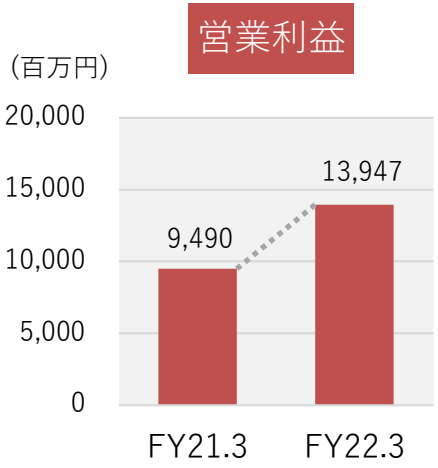
● めっき加工事業

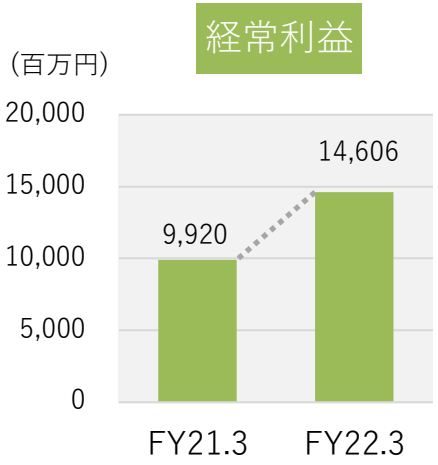
- 台湾のめっき加工は、パッケージ関連の表面処理加工に特化している関係で好調に推移しています。タイやインドネシアのめっき加工は、コロナ禍の関係で色々な部品調達が満足にできない事から自動車の生産台数も影響を受けている関係で、プラめっき加工も厳しい経営状況が継続しています。更に、自動車業界はパラダイムシフトの真最中で、内燃機関駆動から電気モーター駆動への変化が急速に起こっています。加工事業全体としてパッケージ関連の表面処理加工が好調で、売上高およびセグメント利益共に前連結会計年度を上回りました。

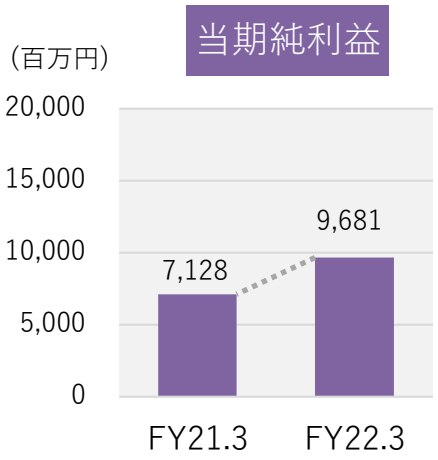
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

2022年3月期 決算概要





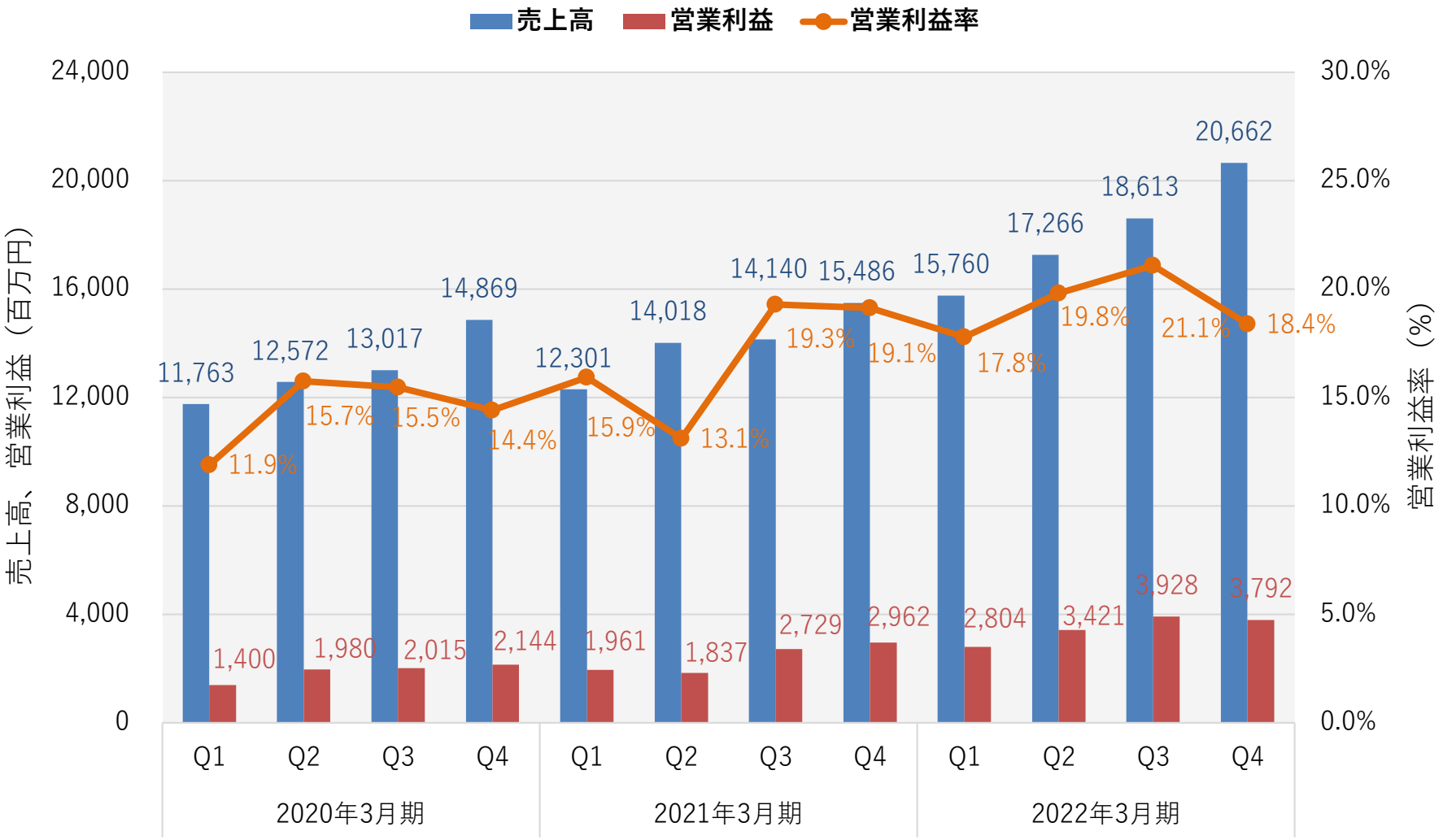




（単位：百万円）	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想（修正後）	2022年3月期 実績	前期比	予想比
売上高	55,947	65,000	72,303	＋16,356 （＋29.2%）	＋7,303 （＋11.2%）
営業利益	9,490	12,000	13,947	＋4,456 （＋47.0%）	＋1,947 （＋16.2%）
経常利益	9,920	12,500	14,606	＋4,685 （＋47.2%）	＋2,106 （＋16.8%）
当期純利益	7,128	8,400	9,681	＋2,553 （＋35.8%）	＋1,281 （＋15.3%）
為替：米ドル	106.76円	109.05円	109.90円	＋3.14円	＋0.85円

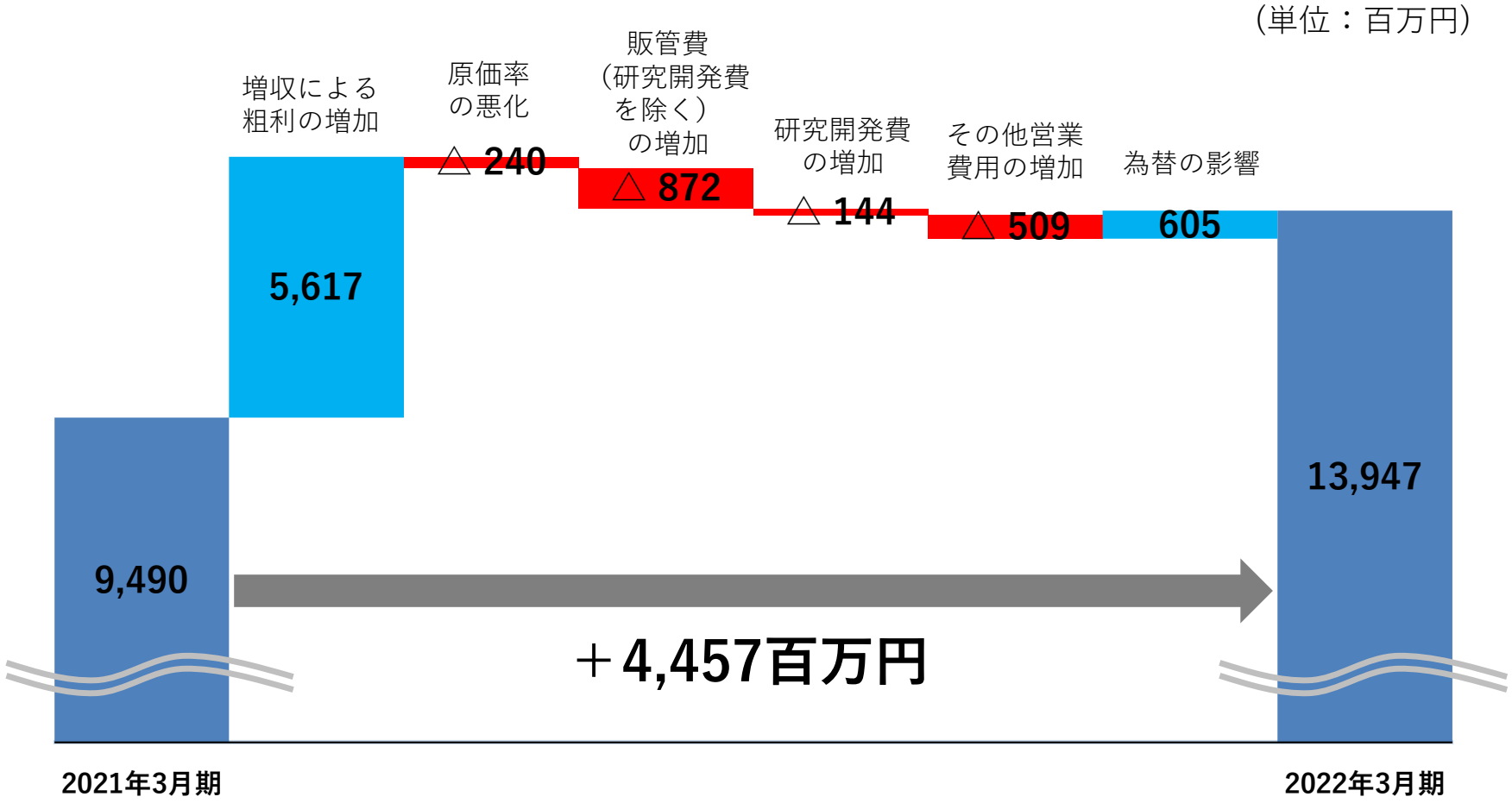
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

四半期毎の業績推移



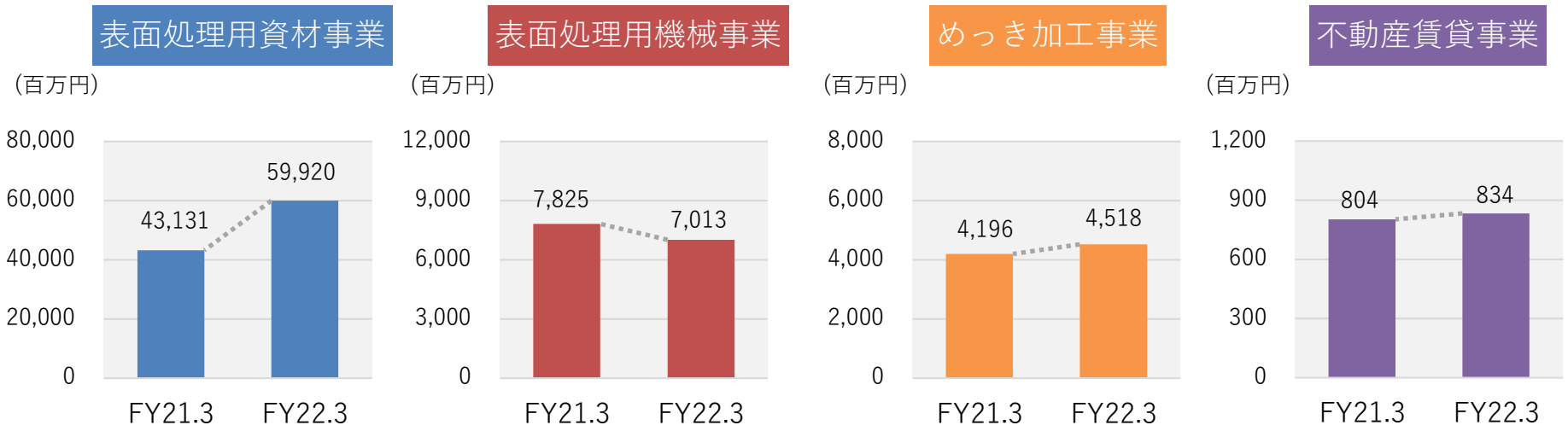
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

営業利益の増減要因



© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業セグメント別売上高

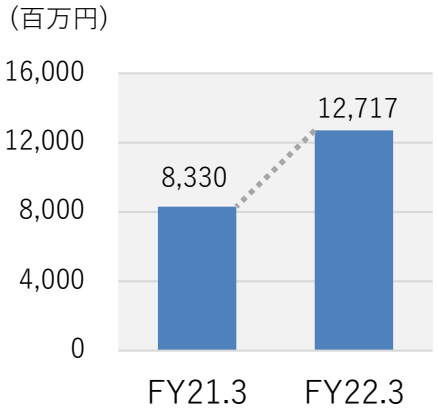


（単位：百万円）	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	増減額	増減率
表面処理用資材	43,131	59,920	＋16,788	＋38.9%
表面処理用機械	7,825	7,013	△ 811	△ 10.4%
めっき加工	4,196	4,518	＋322	＋7.7%
不動産賃貸	804	834	＋29	＋3.7%

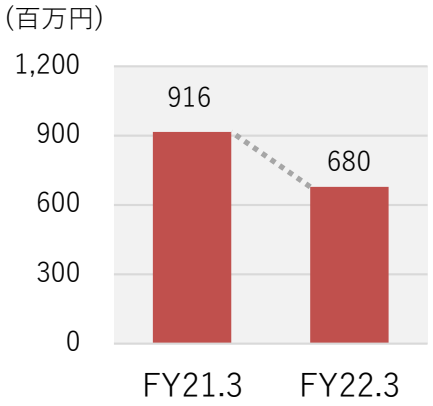
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業セグメント別営業利益

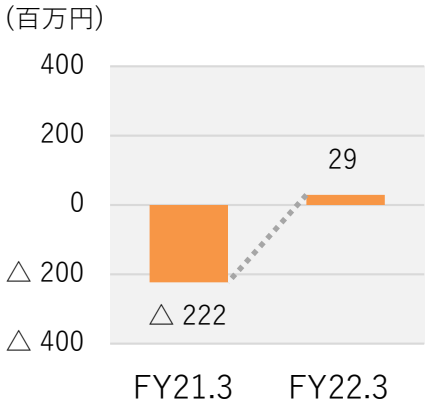
表面処理用資材事業



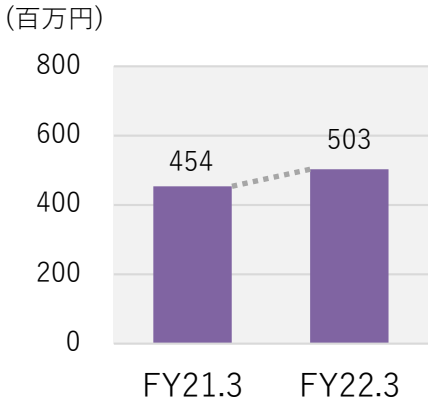
表面処理用機械事業



めっき加工事業



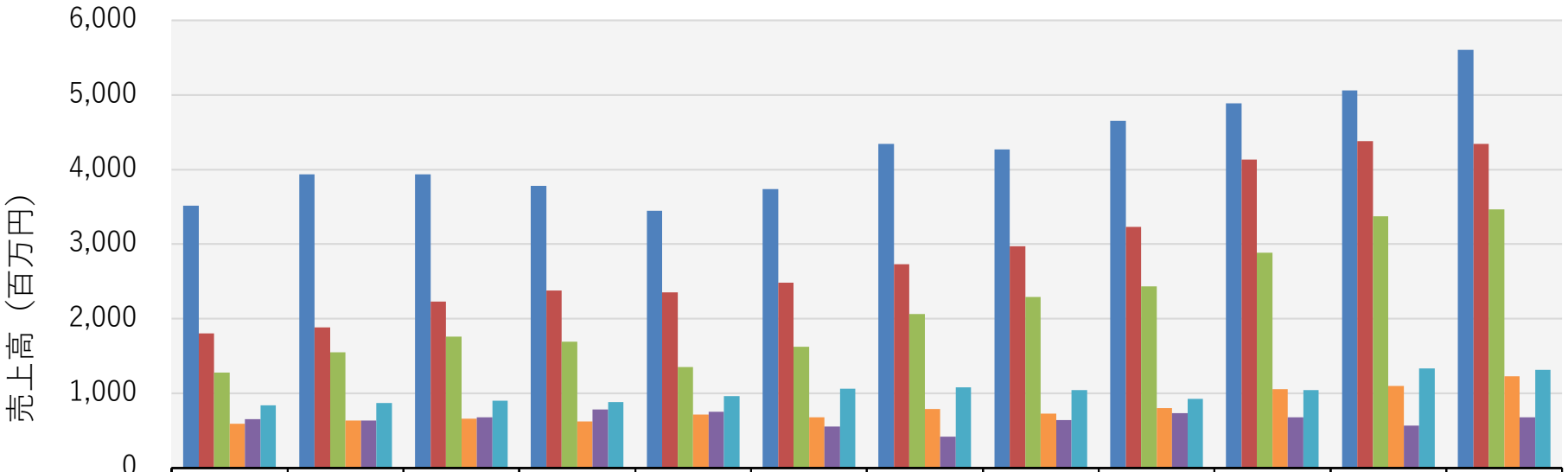
不動産賃貸事業



(単位：百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	増減額	増減率
表面処理用資材	8,330	12,717	＋4,387	＋52.7%
表面処理用機械	916	680	△ 235	△ 25.7%
めっき加工	△222	29	＋251	-
不動産賃貸	454	503	＋47	＋10.7%

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

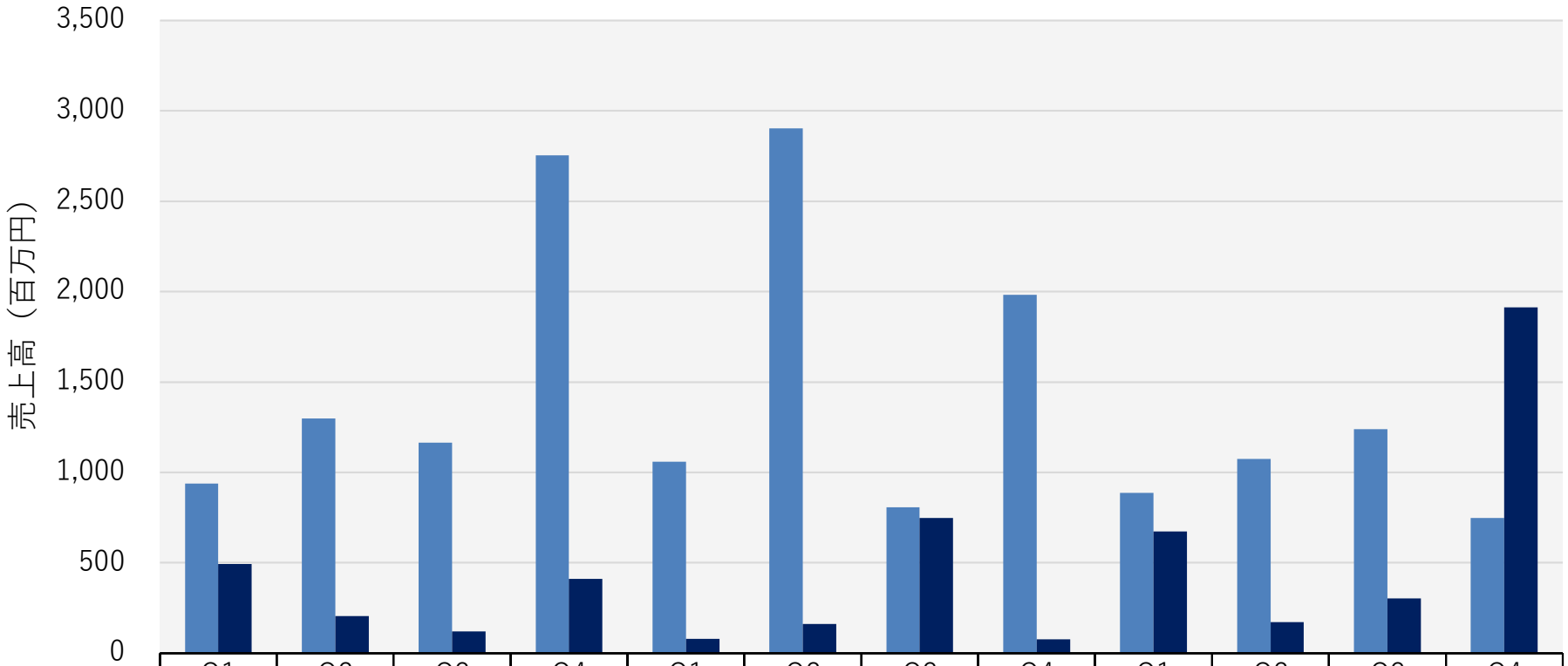
表面処理用資材事業 売上高推移



	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
日本	3,518	3,934	3,934	3,783	3,448	3,737	4,342	4,270	4,653	4,889	5,062	5,608
台湾	1,804	1,885	2,231	2,380	2,355	2,485	2,728	2,973	3,231	4,133	4,380	4,343
中国	1,278	1,551	1,757	1,689	1,350	1,622	2,064	2,291	2,436	2,887	3,375	3,465
韓国	589	634	660	620	714	678	791	726	803	1,054	1,096	1,227
ＡＳＥＡＮ	651	637	676	784	753	556	421	642	733	675	564	681
北米	839	869	901	879	961	1,062	1,082	1,045	924	1,040	1,333	1,314

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

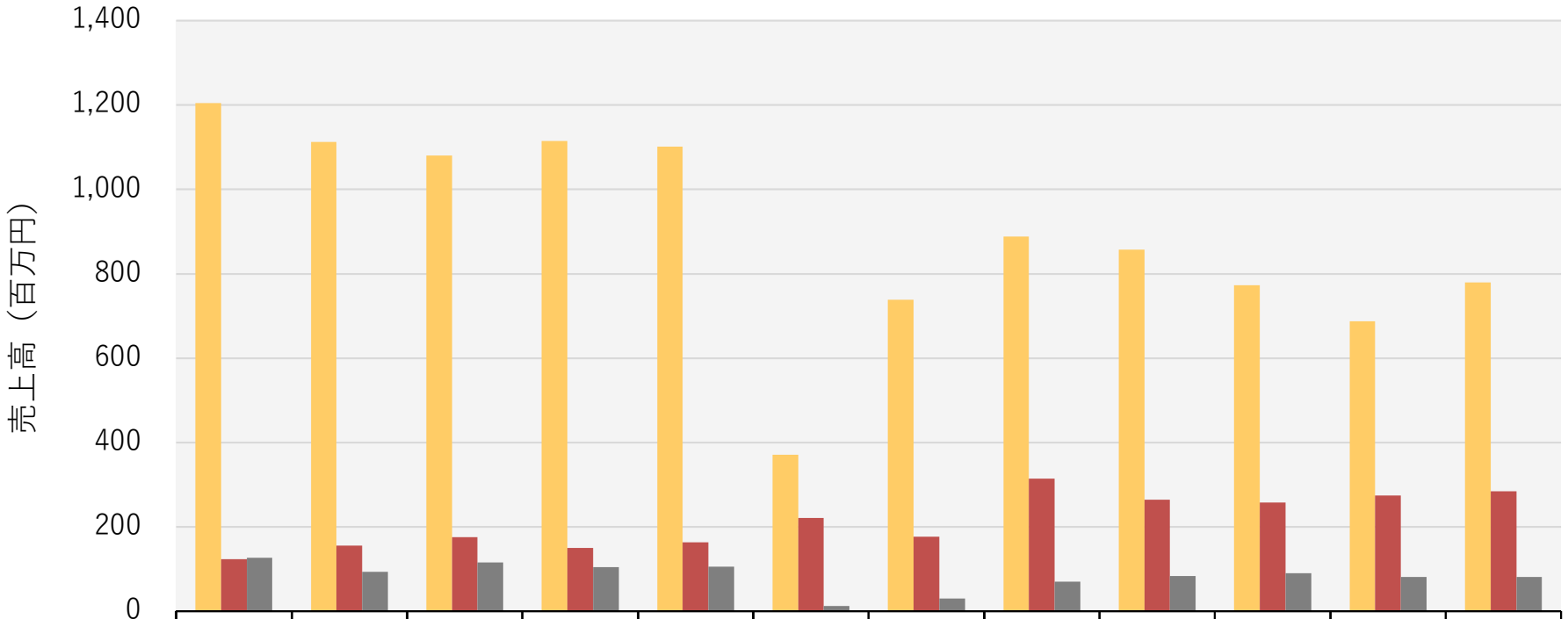
表面処理用機械事業 売上高推移



	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
日本	938	1,298	1,165	2,754	1,060	2,903	807	1,983	887	1,075	1,240	747
海外	492	204	119	410	80	160	749	76	673	172	302	1,914

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

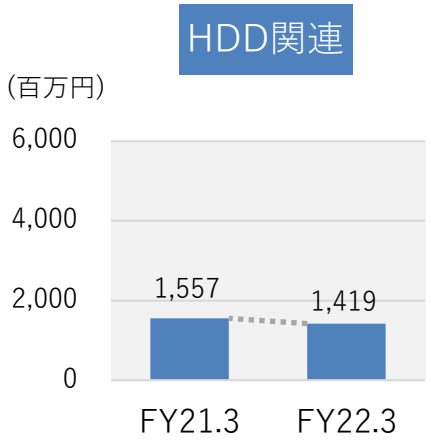
めっき加工事業 売上高推移

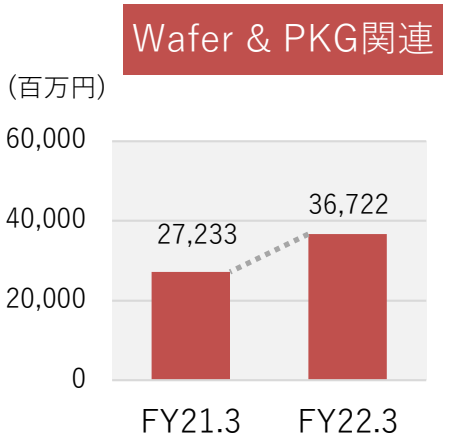


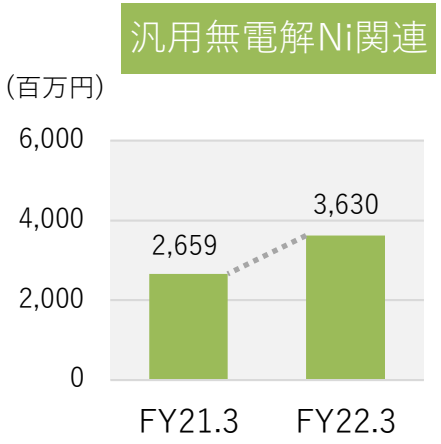
	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
タイ	1,205	1,113	1,080	1,115	1,101	371	738	888	857	773	687	780
台湾	123	155	175	150	163	221	177	314	264	258	274	284
インドネシア	127	93	116	104	106	12	30	70	83	90	81	81

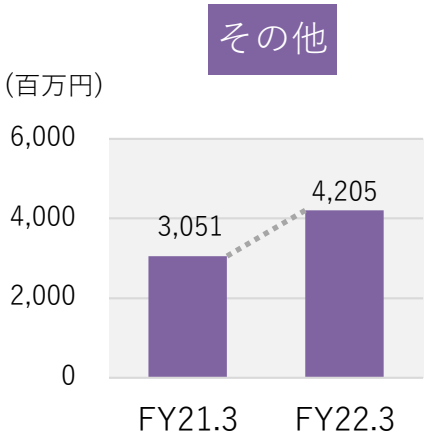
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

薬品カテゴリー別売上高









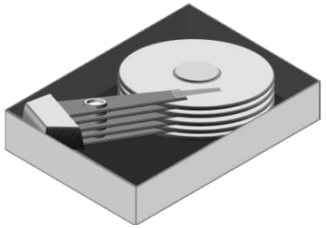
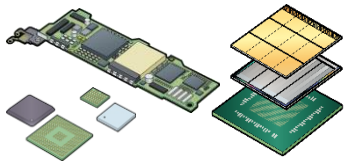
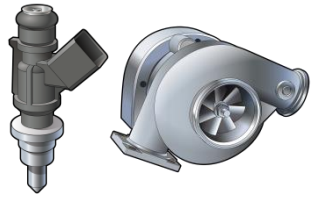
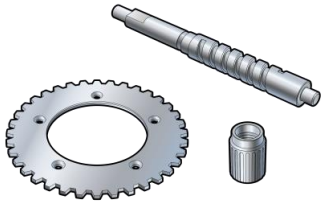
※PWB・PKG関連より名称変更

(単位：百万円)	2021年3月期実績	構成比	2022年3月期実績	構成比	増減額	増減率
HDD関連	1,557	4.5%	1,419	3.1%	△ 137	△ 8.8%
Wafer & PKG関連	27,233	78.9%	36,722	79.9%	＋9,489	＋34.8%
汎用無電解Ni関連	2,659	7.7%	3,630	7.9%	＋970	＋36.5%
薬品その他	3,051	8.9%	4,205	9.1%	＋1,153	＋37.8%
合計	34,501	100.0%	45,977	100.0%	＋11,476	＋33.3%

薬品の売上高は、表面処理用資材事業に含まれます。薬品には研磨剤、工業薬品、金属等は含んでおりません。※内部売上高含む

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

薬品ビジネス 最終製品までの流れ

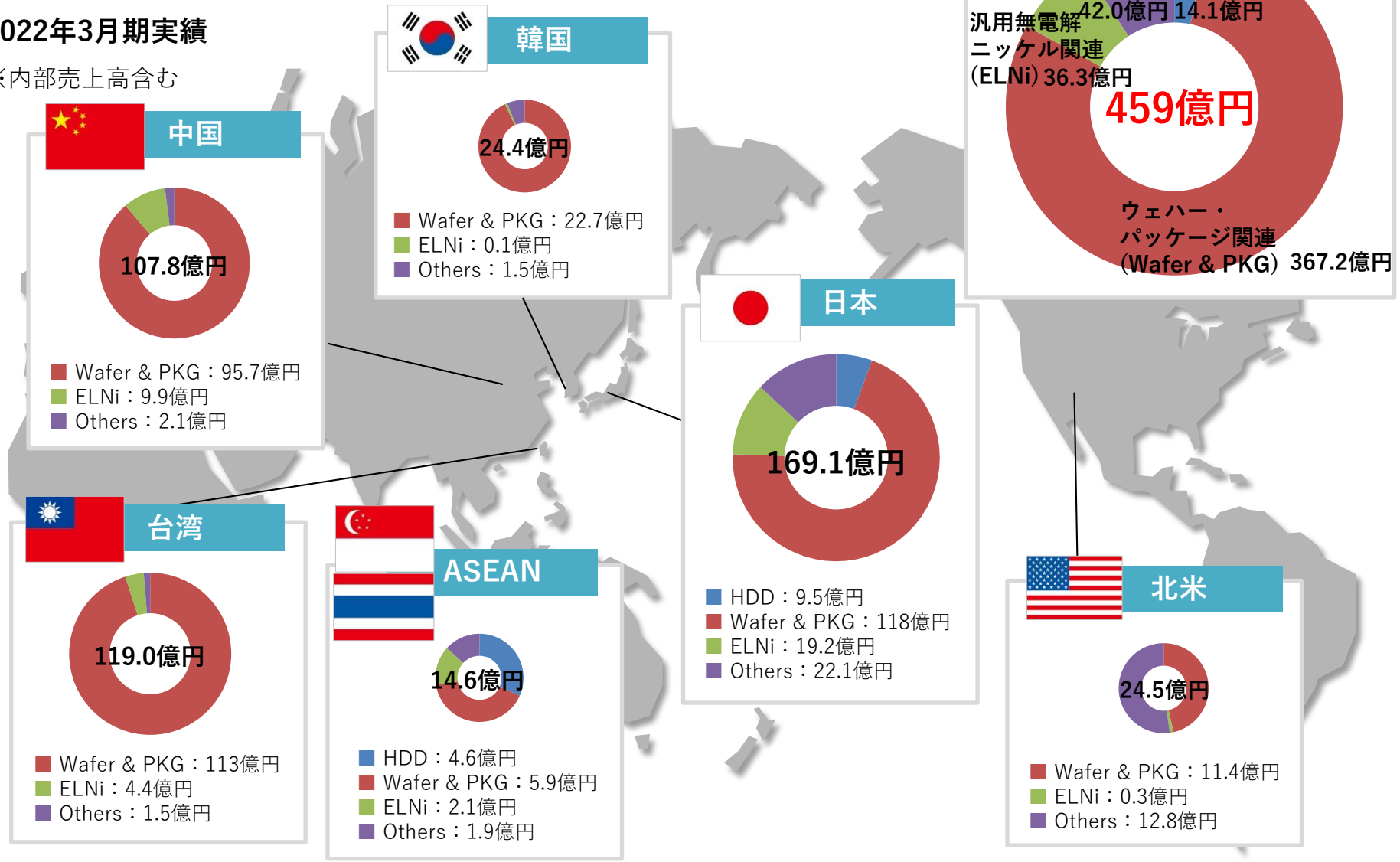
	HDD関連	Wafer & PKG関連	汎用無電解 Ni関連	その他
当社薬品	• 無電解ニッケルめっき (高リンタイプ) P含有率12wt%以上 ニムデンHDX	• 最終表面処理薬品 無電解ニッケル/金めっき 無電解ニッケル/パラジウム /金めっきなど • 無電解/電解銅めっき	• 無電解ニッケルめっき (中リンタイプ) P含有率8～11wt% ニムデンSX、DX、KTY、 BEL801(ホウ素タイプ)	• 装飾めっき (ニッケル/クロム、 亜鉛めっき、プラめっき) • はんだめっき • PTFE含有複合めっき
役割	・非磁性　など	・高周波数特性 ・接合信頼性　など	・耐食性 ・耐摩耗性　　など	・装飾性、耐食性 ・耐摩耗性　など
中間メーカー	ｱﾙﾐ磁気ﾃﾞｨｽｸﾒｰｶｰ 	基板ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾒｰｶｰ 半導体メーカー 	各種部品メーカー 	各種部品メーカー 
最終製品	ハードディスク (サーバー、PCなど) 	半導体・電子部品 関連製品 	自動車・OA機器など 	自動車など

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

地域別薬品売上高

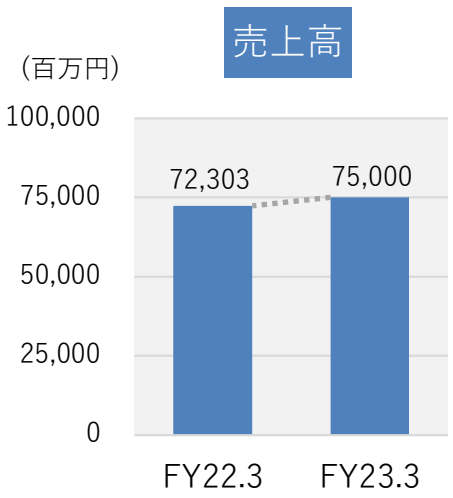
2022年3月期実績

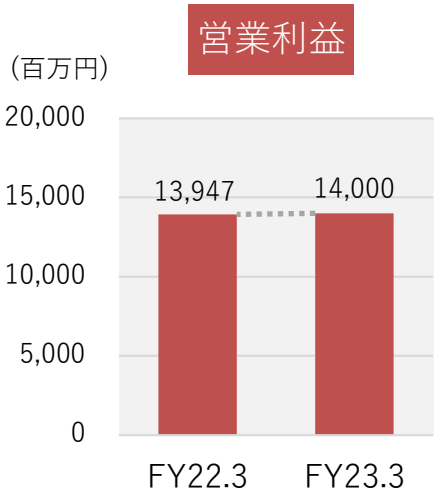
※内部売上高含む

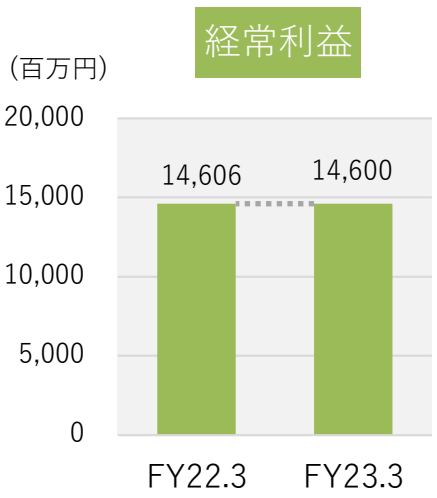


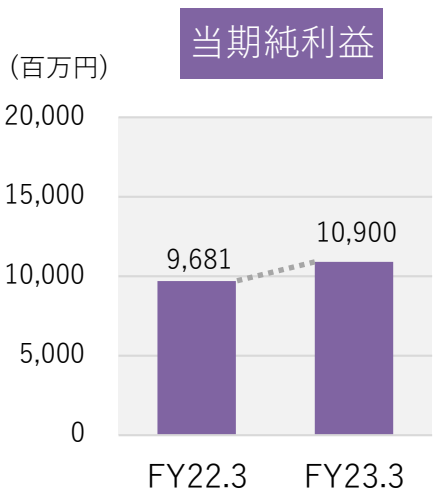
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

2023年3月期 通期業績予想









(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	72,303	75,000	+2,696	+3.7%
営業利益	13,947	14,000	+52	+0.4%
経常利益	14,606	14,600	△ 6	△ 0.0%
当期純利益	9,681	10,900	+1,218	+12.6%
為替：米ドル	109.90円	122.39円	12.49円安	

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

2023年3月期 通期業績予想

● 事業セグメント別売上高・営業利益予想

（単位：百万円）	売上高				営業利益			
	2022年3月期実績	2023年3月期予想	増減額	増減率	2022年3月期実績	2023年3月期予想	増減額	増減率
表面処理用資材	59,920	63,200	+3,280	+5.5%	12,717	13,000	+283	+2.2%
表面処理用機械	7,013	6,200	△ 813	△ 11.6%	680	300	△ 380	△ 55.9%
めっき加工	4,518	4,800	+282	+6.2%	29	250	+221	+762.1%
不動産賃貸	834	800	△ 34	△ 4.1%	503	450	△ 53	△ 10.5%

● 薬品カテゴリー別売上高予想

（単位：百万円）	2022年3月期実績	2023年3月期予想	増減額	増減率
HDD関連	1,419	1,450	+30	+2.1%
Wafer & PKG関連	36,722	39,750	+3,027	+8.2%
汎用無電解Ni関連	3,630	3,760	+129	+3.6%
薬品その他	4,205	4,295	+89	+2.1%
合計	45,977	49,255	+3,277	+7.1%

＜参考＞為替感応度

2023年3月期想定レート：122.39円(JPY/USD)

円安に1円振れると通期で
- 売　　上：約380百万円増
- 営業利益：約70百万円増

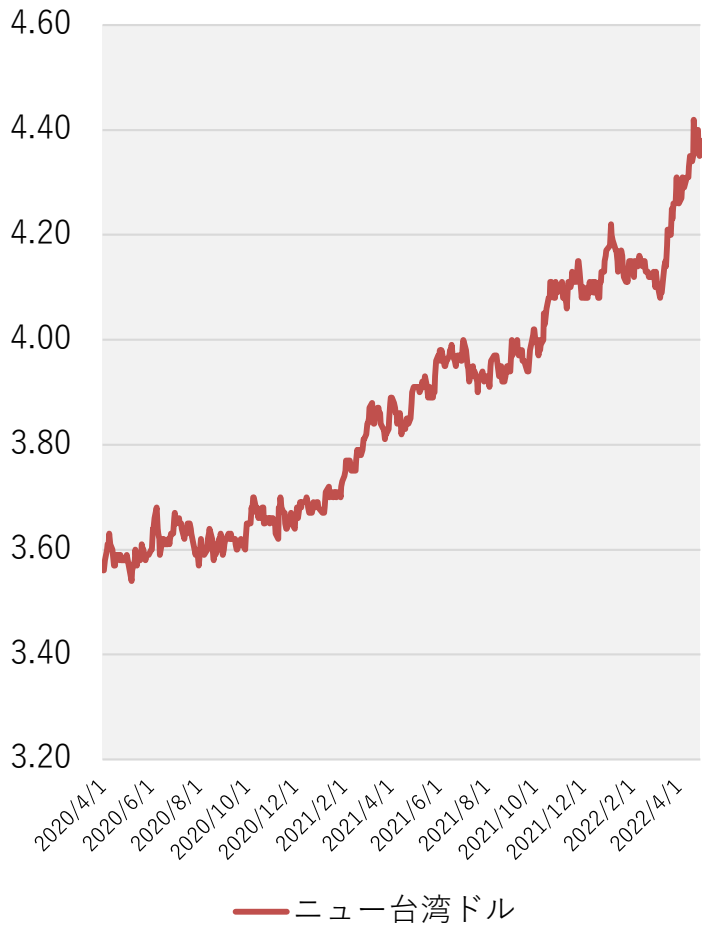
円高に1円振れると通期で
- 売　　上：約380百万円減
- 営業利益：約70百万円減

※米ドル以外の通貨も連動して動くことを想定しています。

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

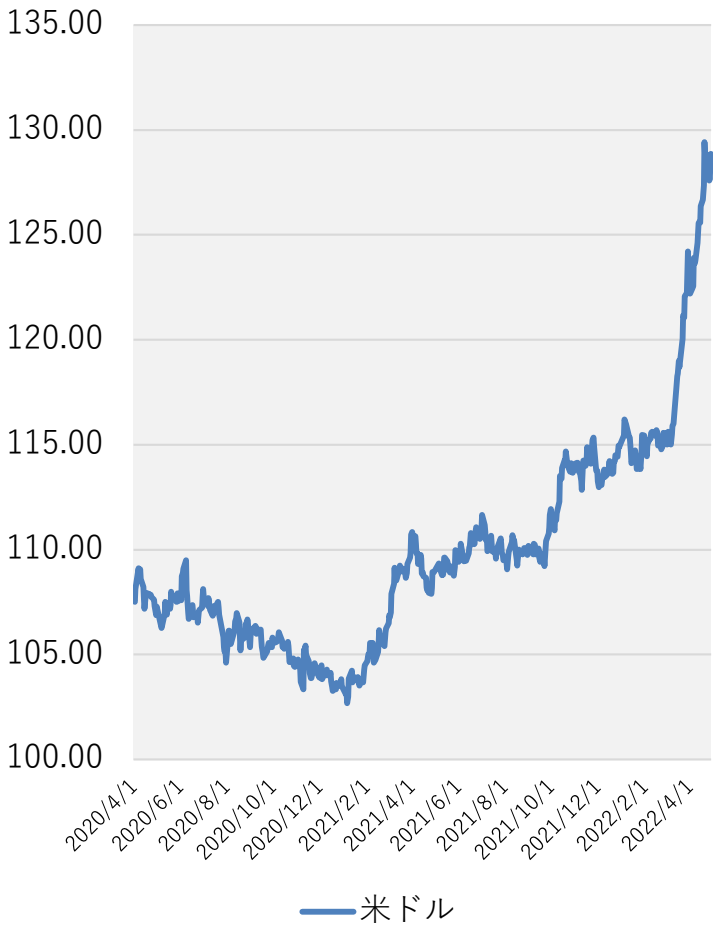
為替レートの推移

ニュー台湾ドル



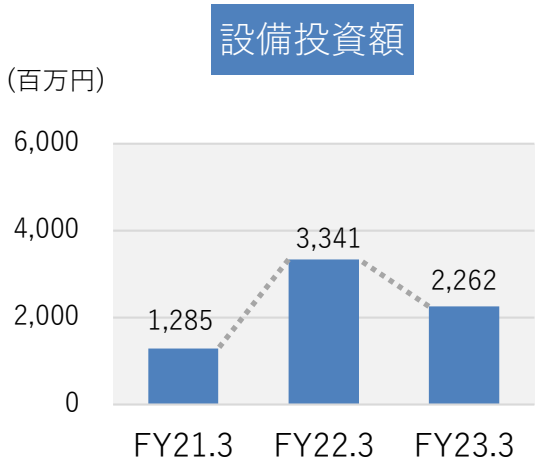
人民元

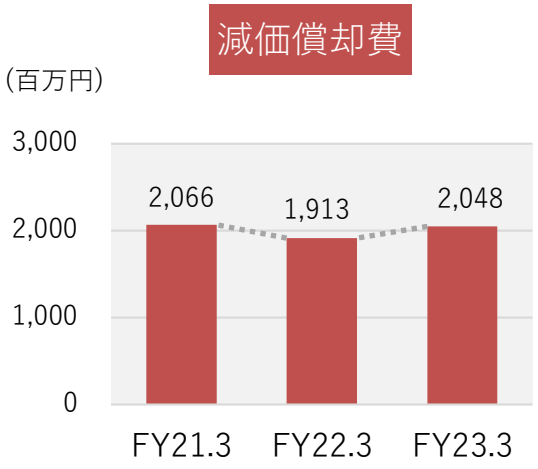
米ドル

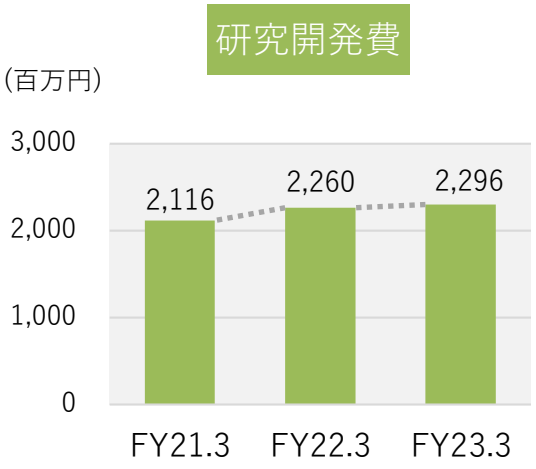


© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

設備投資/減価償却/研究開発費







(単位：百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想
設備投資額	1,285	3,341	2,262
減価償却費	2,066	1,913	2,048
研究開発費	2,116	2,260	2,296

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

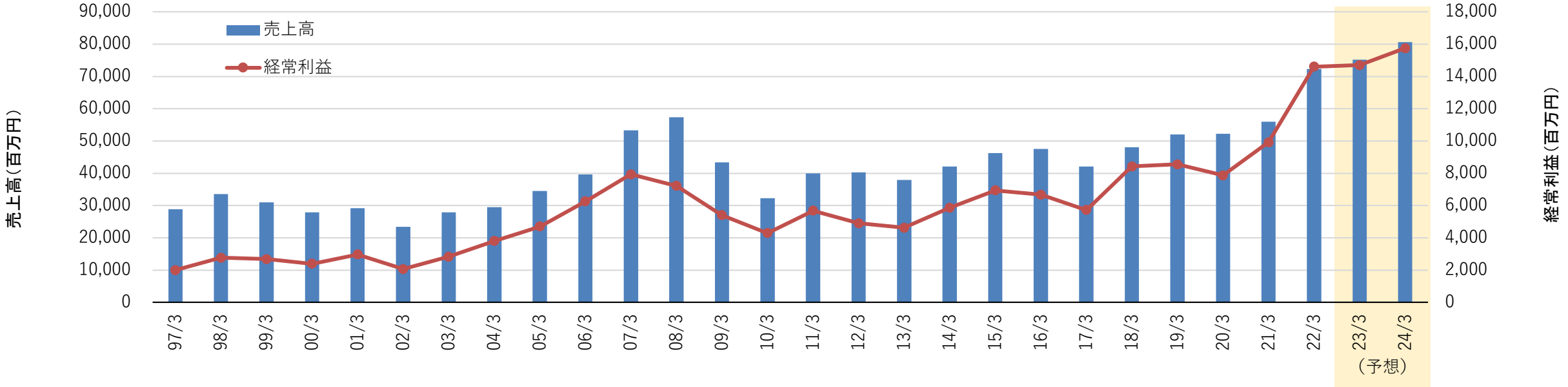
＜トピックス＞中期経営計画 3か年業績目標を更新

	2021年3月期実績		2024年3月期（計画）
売上高	559億円	⇒	806億円（2022/5/13更新）
経常利益	99億円	⇒	157億円（2022/5/13更新）

【計画値の修正理由】

前回発表予想を上方修正いたしました背景は、国内外のパッケージ基板メーカー各社に於いてFC-BGA（Flip Chip-Ball Grid Array）およびEmbedded substrate（部品内蔵基板）製造設備の投資が発表されました。該当する増設した設備が稼働開始すれば、該当する弊社製品も増加しますので、その数値を反映しました。なお、顧客であるパッケージ基板メーカー各社は発表した時期に間に合うよう設備の立上を急いでいますが、コロナ禍で全ての電子部品、配管材料および電動モーター等が入手困難な状態であり、弊社が発注している部品の納期回答も得られない状況が懸念材料としてあります。更にロシア・ウクライナ紛争の影響が近々全ての経済に影響があると思われ、消費者の購買意欲の低下があり、今回上方修正しました数値に影響が出ることが懸念事項としてあります。

株式上場以降の業績推移



© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

資本政策

安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上を基本方針とした資本政策に取り組んでいます

連結総還元性向 50%（2022/5/13更新）、ROE 8.5%を目標

2022年3月期-2024年3月期の3年間で60億円規模の弾力的な自己株式取得を実施

中長期的にはROE 10%を目指す

- **総還元性向による安定した配当の実現と自己株式取得の機動的な実施**
- **経済状況、財務状況等を総合的に勘案した弾力的な自己株式取得の実施**
- **将来の成長が見込まれる分野や地域、新たな技術取得、M&A、想定外の事態や自然災害に備えた内部留保の確保**

※当社は、役職員と共に持続的な企業価値創造を実現していくため、その動機付けの原資として、またM&A戦略（M&Aや業務資本提携等）を実施するため、その対価として一定の自己株式を保有します。
※M&A戦略を実施しなかった場合は、発行済株式総数の10%を超える部分については、消却いたします。

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

自己株式取得に係る事項の一部変更について

2022年3月10日開催の取締役会において決議した自己株式取得に係る事項について、2022年5月13日開催の取締役会において、当該事項を一部変更することを決議いたしました。

1. 変更理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図るため、当社の経営環境や財務状況等を総合的に勘案し、取得する株式の総数、株式の取得価額の総額、自己株式取得の期間の変更を行う。

2. 変更内容

	変更前	変更後
(1)取得対象株式の種類	当社普通株式	
(2)取得する株式の総数	400,000株（上限） (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.32%)	1,000,000株（上限） (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合5.80%)
(3)株式の取得価額の総額	20億円（上限）	50億円（上限）
(4)自己株式取得の期間	2022年4月1日から 2022年8月31日まで	2022年4月1日から 2022年11月30日まで

（ご参考）

2022年3月10日開催の取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計（2022年5月13日現在）

（1）取得した株式の総数　139,900株

（2）株式の取得価額の総額　854,546,000円

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

譲渡制限付株式報酬制度導入について

● 譲渡制限付株式報酬制度（RS）導入について

2021年5月に発表した中期経営計画において導入予定と発表しておりました譲渡制限付株式報酬制度については、以下の進捗となります。

2021年６月29日開催の第93期定時株主総会において、「取締役（社外取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式の付与のための報酬決定の件」のご承認をいただき、譲渡制限付株式報酬制度の導入を行っております。

今後、業績要件に基づく譲渡制限付株式報酬制度についても採用を検討いたします。

また、2022年２月10日開催の取締役会において、当社従業員に対して上村工業従業員持株会を通じて譲渡制限付株式を付与する制度の導入について決議し、導入を行っております。

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

参考資料

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

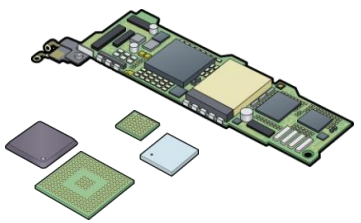
営業基本戦略

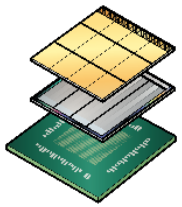
顧客満足度向上を目指す
誠心を以って実行に徹底する

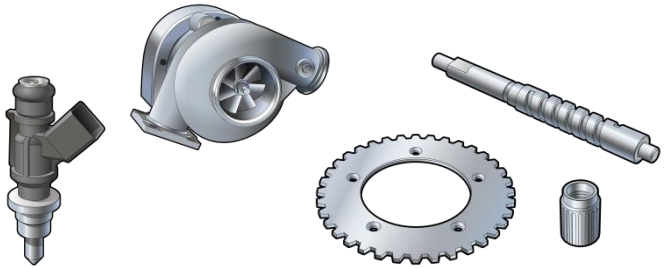
- 市場占有率が高い市場では、更に市場占有率を高めるための営業および開発戦略
- 市場占有率が低い市場では、市場占有率を上げるための営業および開発戦略
- 市場の流れに合う製造戦略
- 薬品、機械および液管理装置のトータルソリューションの提供

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

営業基本戦略







表面処理薬品

三位一体の
トータルサポート

液管理装置

機械設備

全薬液分析可能

パワーデバイス用ウェハーめっき装置

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業環境について

- **現行市場状況**

① 国内：通信、サーバー、PC関連好調。

車載　半導体やコロナ影響はあるも大幅減ではない。

② 海外：国内とほぼ同じ傾向。車載も同様。

通信・基板関連は好調。車載は減産の影響はある。

- **現在注力している技術**

次世代PKG、通信向け基板技術、カーエレクトロニクス、環境関連技術

- **今後注力すべき技術**

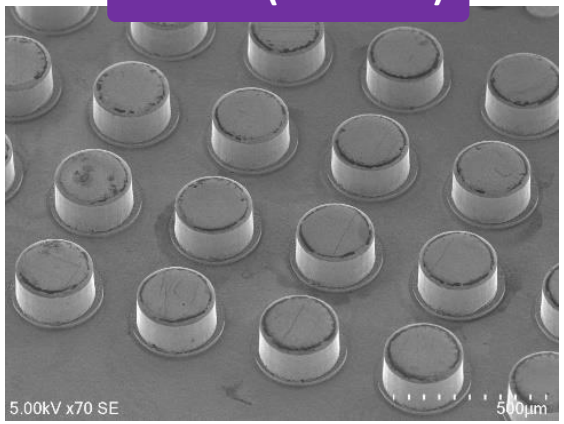
基板用微細配線技術、半導体バンプおよび配線技術、

次世代接合材料向け表面処理、環境対応製品の開発

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

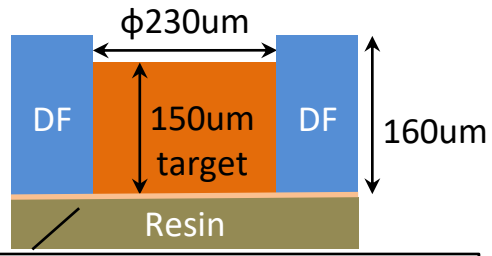
３Ｄ実装に必要なめっき技術

12 ASD (56.7 min)

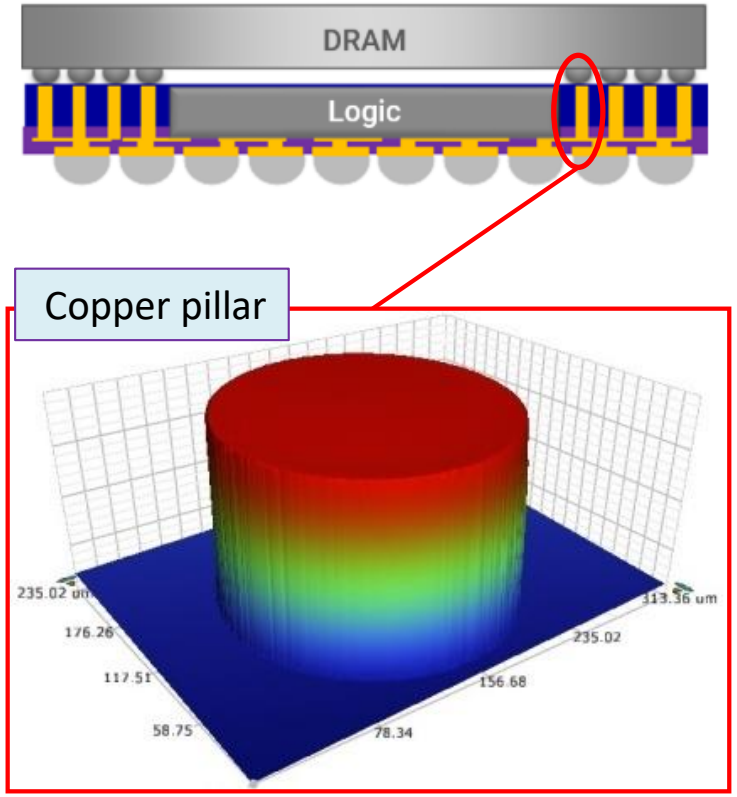


Cu Post

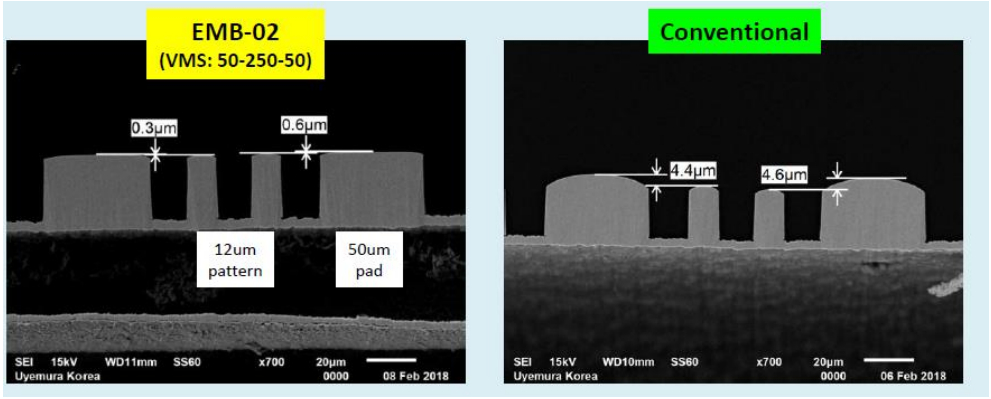
POST spec.



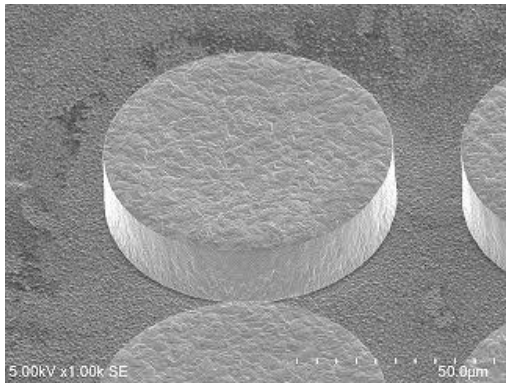
Cu seed layer: 0.6um E-less copper



E-Cu

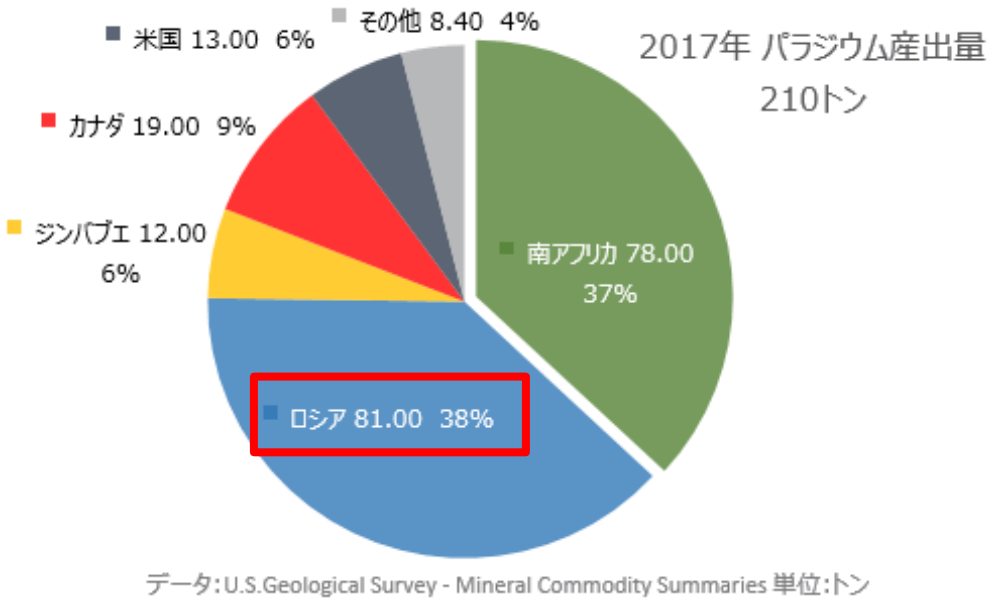


E-Sn



© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

高騰する原材料の代替技術（パラジウム）



様々な原料が高騰している中、もともと高騰していたパラジウムがウクライナ問題で逼迫する可能性がある

主な用途はガソリン自動車の3元触媒で、その使用量は全体の70~80%程度
（日本国内は自動車用途、歯科用途、電子部品＋その他＋装飾用で約3等分）

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

パラジウム　めっき用途

表面処理に使われるパラジウム

めっき触媒

樹脂上の金属化　（プラめっき用、プリント基板向け無電解銅用）

Cu上への無電解Niめっき用

パラジウムめっき

Ni/Pd/Auめっき　→　Ni/Pt/Auなど

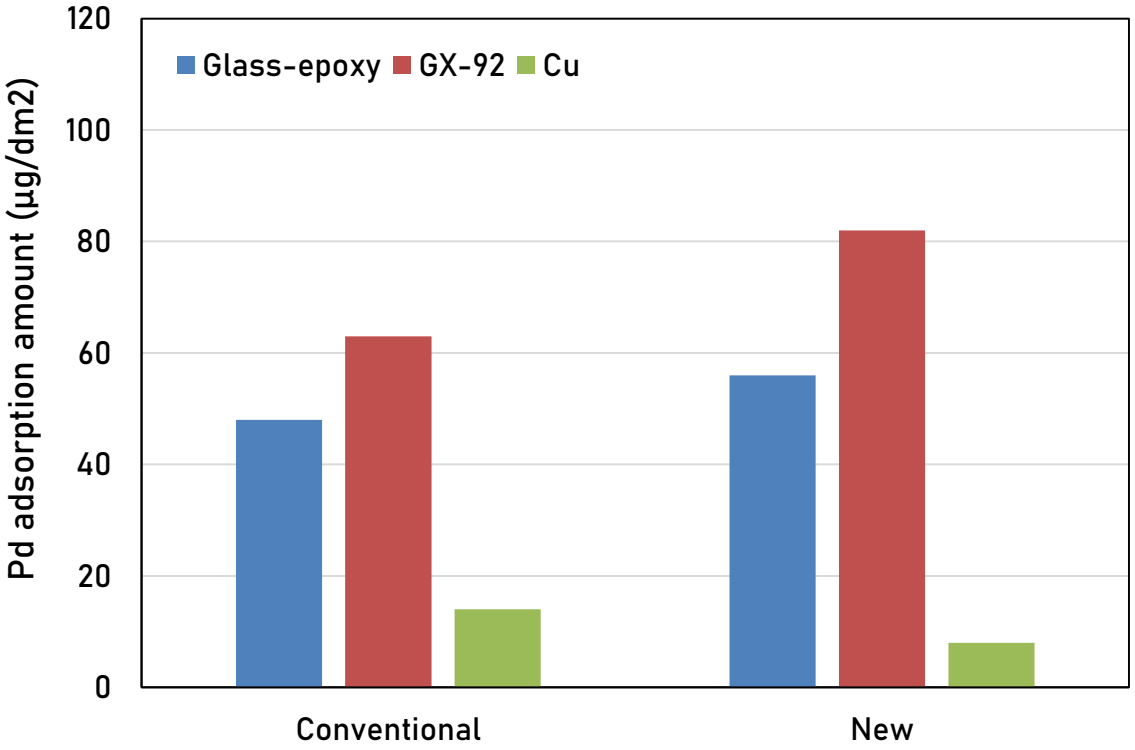
電解Pd、Pd合金めっき（コネクター等）

それぞれの代替技術は容易ではないが、使用量の削減を中心に技術開発を継続

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

プリント基板向け無電解銅用触媒処理液

アクチベーターの前の酸洗処理に添加剤を入れることで
アクチベーター浴中のPd濃度を 200→50mg/L（７５％削減） にできるプロセスを開発。



Pd濃度を減少させても、めっき後の密着性や信頼性に問題はない。

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

銅基材上への無電解ニッケルめっき用触媒液

クリーナー

↓

エッチング

↓

酸洗

↓

プレディップ

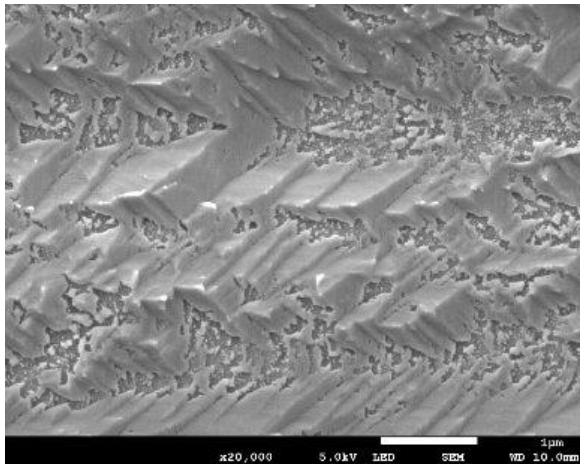
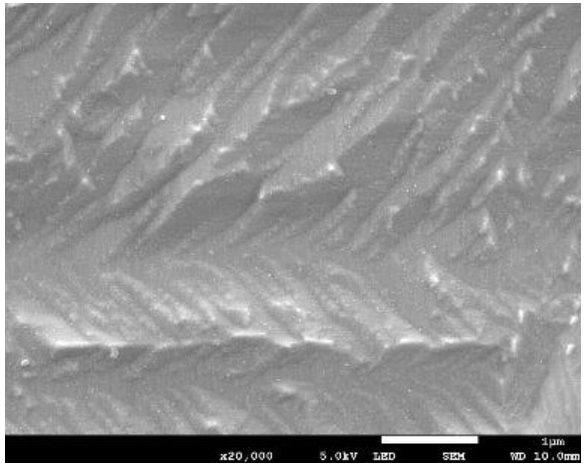
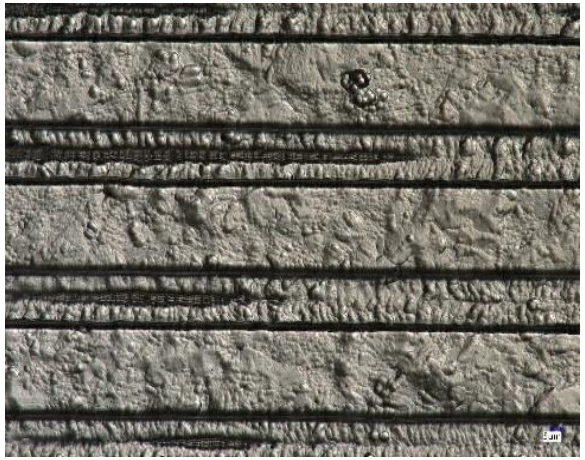
Pdアクチベーター

↓

無電解Ni

代替技術

→ Pdフリー
アクチベーター

	従来品［Pd］	Pdフリーアクチベーター
アクチベーター後の銅表面		
基板適応時のファインパターン性		

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

ESG・SDGsに関する取り組み

当社は「Growing together with （:You）」 のグループ共通スローガンのもと、
ステークホルダーの皆様と共に成長・発展し、社会に貢献できる企業を目指しています

Environment（環境）

環境対応型製品・技術の開発・拡販

廃棄物・水使用量の削減

社会発展・環境改善へとつながる製品の開発・提供

クリーンエネルギーの使用、電力使用量の削減

持続可能な社会の実現

社会貢献・地域貢献活動の推進

コンプライアンスの徹底、人権の尊重

受注から出荷までの工程の自動化

BCP（事業継続計画）の実施

いきいきと働ける職場環境の整備

Social（社会）

Governance（ガバナンス）

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

環境対応製品　～SDGsの積極的取り組み～

1. Pbフリーめっき浴
   - 無電解Niめっき浴で既に展開。　主に汎用浴向け。
   - Pbフリーの電気Snめっき浴。純Sn、Sn-Ag浴などに既に展開。　電子部品向け。
2. シアンフリー浴
   - シアンフリーの無電解＆電解Auめっき浴に展開＆開発。　ウェハー、電子部品向け。
   - シアンフリーの電解Agめっき浴を開発。　電子部品向け。
3. ホルマリンフリー浴およびホルマリン不使用プロセス
   - 樹脂上へのダイレクトめっき（無電解銅浴を使わない）に展開＆開発。　基板向け。
   - ホルマリンフリー無電解銅浴の開発。　ウェハー向け。
4. 廃液処理
   - 無電解Ni廃液リサイクルユニット

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

グループ会社一覧

会社名	設立年	所在地	主な事業内容
上村工業株式会社	1848年(創業) 1933年(設立)	日本	営業 研究開発 薬品製造 機械製造 不動産賃貸
株式会社サミックス	1963年	日本	不動産賃貸
ウエムラ・インターナショナル・コーポレーション	1985年	米国	営業 研究開発 薬品製造
上村(香港)有限公司	1986年	中国 (香港)	営業
台湾上村股份有限公司	1987年	台湾	営業 研究開発 薬品製造 機械製造 めっき加工
サムハイテックス	1987年	タイ	営業 研究開発 薬品製造 めっき加工
上村工業(深圳)有限公司	1988年	中国 (深圳)	営業 研究開発 薬品製造 機械製造
ウエムラ・インターナショナル・シンガポール	1992年	シンガポール	営業
ウエムラ・マレーシア	1996年	マレーシア	研究開発 薬品製造
上村化学(上海)有限公司	2002年	中国 (上海)	営業
韓国上村株式会社	2010年	韓国	営業 薬品製造
ウエムラ・インドネシア	2012年	インドネシア	営業 めっき加工

営業　研究開発　薬品製造　機械製造　めっき加工　不動産賃貸

2022年3月31日現在

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Growing together with

Uyemura Group Companies

• Japan	C.Uyemura & Co., Ltd.	• Taiwan	Taiwan Uyemura Co., Ltd.
	Sumix Corporation	• Korea	Uyemura Korea Co., Ltd.
• USA	Uyemura International Corporation	• Singapore	Uyemura International (Singapore) Pte Ltd
• Hong Kong	Uyemura International (Hong Kong) Co., Ltd.	• Malaysia	Uyemura (Malaysia) Sdn. Bhd.
• Shenzhen	Uyemura (Shenzhen) Co., Ltd.	• Thailand	Sum Hitechs Co., Ltd.
• Shanghai	Uyemura (Shanghai) Co., Ltd.	• Indonesia	PT. Uyemura Indonesia